

環境省の新たな環境活動 「もったいないばあさんプロジェクト」に賛同 ～TOTOは“水のもったいない(節水)”を情報発信～

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:清田 徳明)は、環境省の新たな環境活動である「もったいないばあさんプロジェクト」に賛同しました。水まわりの総合機器メーカーとして“水のもったいない”を発信し、節水の大切さを伝える活動に取り組んでいきます。

「もったいないばあさんプロジェクト」について

環境省では持続可能な社会の実現を推進する、という考えのもと、資源を大切にすることや環境の豊かさについて、多くの世代に向けた発信に取り組んでいます。その施策として、このたび「もったいないばあさんプロジェクト」をスタートさせました。

「もったいないばあさんプロジェクト」は、環境省と、人気絵本シリーズ『もったいないばあさん』を出版する株式会社講談社(以下「講談社」と)の共同プロデュースであり、日本語の「もったいない」の大切さを伝え、幅広い世代、そして世界に広く展開し、もったいない精神が普及・定着するきっかけとなることを目的としています。その具体的な取り組みとして6月5日より『もったいないばあさん』シリーズ4作品が6言語※₁の吹き替えアニメ※₂となり、オンラインで無料配信されます。

また、本プロジェクトには企業7社が賛同し、各社が「もったいない」への取り組みを進めるとともに、アニメのプロモーションに協力します。世界の人々に日本発の「MOTTAINAI」の心を通して、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【もったいないばあさんプロジェクト】 環境省・講談社 共同プロデュース



【賛同企業】

ANAホールディングス株式会社、
株式会社セブン-イレブン・ジャパン、
大日本印刷株式会社、
株式会社東京放送ホールディングス、
TOTO株式会社、
日本コカ・コーラ株式会社、
プロクター・アンド・
ギャンブル・ジャパン株式会社

(五十音順)

「もったいないばあさんプロジェクト」でのTOTOのアクション

TOTOは、本プロジェクトにて、“水のもったいない”を伝える活動を予定しています。ホームページや全国のTOTO拠点、イベントなどを通じて、節水の大切さを発信していきます。



TOTO「水と地球の、あしたのために。」

<https://jp.toto.com/greenchallenge/index.htm>

※1 日本語、英語、フランス語、スペイン語、中国語、ヒンディー語

※2 アニメ制作は、AEPW(Alliance to End Plastic Waste)という廃棄プラスチック問題に取り組む非営利団体が協賛。

TOTO グローバル環境ビジョン

TOTOでは、中期経営計画「TOTO WILL2022」とともに、その推進エンジンとなる「TOTOグローバル環境ビジョン」を見直しました。これまで取り組んできた“環境”に加え、事業に関係の深い社会的なテーマとして“きれいと快適”“人とのつながり”を加えて2018年4月にスタートし、各テーマでは目指す姿のもと、取り組み内容とその指標を定め、2022年度までの目標へ向けて推進しています。

この「TOTOグローバル環境ビジョン」の推進を強化することで、経営とCSRのさらなる一体化を図り、企業価値向上を目指しています。

また、2015年に採択された国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」についても、このビジョンで設定した3つのテーマを中心に、さまざまな活動を通じて貢献していきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

国連「持続可能な開発目標(SDGs)」

[TOTOのCSR活動について](https://jp.toto.com/company/csr/vision/index.htm)

<https://jp.toto.com/company/csr/vision/index.htm>

[TOTOの環境への取り組みについて](https://jp.toto.com/company/environment/index.htm)

<https://jp.toto.com/company/environment/index.htm>